

# 平成30年度

団体名	私たちのあしあと	「食」を通じて世界を知ろう」実行委員会	とっておきの音楽祭 inうつのみや準備委員会
所在地	那須塩原市	宇都宮市	宇都宮市
事業の概要	<p>(短期/事業規模:185,224円) 【構成員】 代表:小倉実季</p> <p>【事業名】 JK×festival アタランイマツリ</p> <p>【事業目的・実績】 ○新設2年目の埼玉小学校の「埼玉コミュニティ事業」に高校生が企画提案・参加し、地域への愛着を育むとともに、世代間交流の促進を図る。</p> <p>・7月上旬:コミュニティ盆踊り企画会議への参加 8月19日(日):会場準備、運営補助、模擬店出店(埼玉小学校) 8月20日(月):会場片付け、清掃活動</p> <p>【事業の効果】 ・小学生・中学生、他地域の高校生、地域住民の多世代間交流が促進された。 ・学校を核とした地域コミュニティづくりを進める中で、若者の視点を生かした企画・運営を行い、若者のコミュニティスキルの向上と、地元への愛着を深めることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:105,072円) 【構成員】 代表:遠藤友紀</p> <p>【事業名】 「食」を通じて世界を知ろう」～調理実習/外国人の自文化紹介レクチャーを通して～</p> <p>【事業目的・実績】 ○20代学生や社会人を対象として、「食」という身近なテーマから異文化に触れたり、公的機関・団体等の体験報告会に参加したりしながら、青少年が国際交流への興味を高めるきっかけを作る。</p> <p>・9月22日(土):イベント内容の検討 10月5日(金):当日の流れ、調理内容、広報の検討 図書館・役所・国際交流団体、高校へのちらし・案内送付 12月16日(日):「作ろう! 食べよう! 学ぼう! オージーランチパーティー」の開催(宇都宮市総合コミュニティセンター2F)</p> <p>・参加者18名</p> <p>【事業の効果】 ・会場内展示やイベントにおける講師との積極的な交流により、異文化への理解が深まり、国際交流や関連事業への関心が高まった。</p>	<p>(中・長期/事業規模:144,334円) 【構成員】 代表:沼野彩香</p> <p>【事業名】 とっておきの音楽祭 inうつのみや</p> <p>【事業目的・実績】 ○障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に音楽を楽しむ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指すストリート音楽祭の開催を目指す。</p> <p>・9～10月:準備委員会(実行委員会)開催 ・11～2月:実行委員会・企画運営会議開催 ・2月24日(日):プレ音楽祭 バルティ 男女共同参画センター 映画上映と音楽祭による2部構成</p> <p>【事業の効果】 ・延べ200名来場 ・映画上映や音楽祭での全編字幕、手話通訳などのユニバーサル上映や、車椅子来場者等へ配慮した環境整備の充実を取り入れた事業実施の実績を残すことができた。 ・環境面だけでなく、今の社会の生きにくさや心のバリアフリーについて考える機会を提供できた。</p>

団体名	ミライ×キャンパス実行委員会	Your Dream	カラフルうつのみやキッズ
所在地	宇都宮市	那須塩原市	宇都宮市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:71,097円) 【構成員】 代表:山崎千織</p> <p>【事業名】 ミライ×キャンパス2018</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内、県外で活躍する先輩、同世代をゲストとして招いたトークセッションやゲスト団体の活動内容体験会を実施し、高校生や大学生、若者が「自分」や「地域」を好きになることや「ミライ」について考え交流する場を設定する。</p> <p>・9月9日(日):自分×ミライ「〇〇で不安だったのか」 11月11日(日):地域×ミライ「地域で発見、ミライの兆し」 1月20日(日):仕事×ミライ「働くミライって何だろう」 2月24日(日):イマ×ミライ「ミライは変わる、イマ動け」(宇都宮まちづくり交流センター「イエローフィッシュ」)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者の自己理解の深まりや地域課題に目を向ける経験を通して、自分の将来について考え、行動しようとする意欲が高めることができた。 ・ゲストスピーカーによる「働くこと」や「社会人になること」に関する講話から、参加者が自身の仕事観や働くことに対する価値観の形成につながった。</p>	<p>(短期/事業規模:84,031円) 【構成員】 代表:大鹿哲太</p> <p>【事業名】 高林寺地区夏祭り</p> <p>【事業目的・実績】 ○伝統芸能の継承と新しい祭りの融合として、音楽を中心として、地域住民の多世代での交流の促進を図る。</p> <p>・6月13日:企画会議参加 6月18日:LINE会議 7月:運営会議 8月11日(土):夏祭り(高林寺境内)</p> <p>【事業の効果】 ・地域にある寺院を会場とし、寺院の取組と連携して事業を展開することで、60年ぶりの夏祭りを実施することができた。 ・高齢者が若者に踊りを教える姿が見られるなど、小学生から高齢者までの多世代間の交流の促進が図られた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:40,035円) 【構成員】 代表:荻野友香里</p> <p>【事業名】 宇都宮市にくらす、外国にルーツを持つ子どもたちサポート事業</p> <p>【事業目的・実績】 ○外国にルーツを持つ小中学生が、日本語学習や日本文化体験、日本料理作りの体験を通して、新たな友達をつくることができ、日本の暮らしになれ、日本を好きになれる機会を創出する。</p> <p>・8月～2月に計14回(各月2回、10月のみ3回) 毎週火曜日 日本語学習サポート (キッズハウス いろどり) ・延べ参加人数20名 ・2月23日(土):「食」と「遊び」とおして世界を知る、「ワールドキッズフェスタ」の開催</p> <p>【事業の効果】 ・コミュニケーション力が低く経験不足が感じられる子どもたちの学習意欲や能力の向上が図られた。 ・対象となる子どもたちが友達の輪に入り、楽しそうに活動する姿が見られた。 ・子どもたちの個々のニーズに合わせた事業が展開できた。</p>